

三 宮 十五郎 議員



入札で、規模の小さい工事に
JVを組む必要があるのか

問 入札制度の改善について尋ねる。

(1) 現在の指名競争入札は、(企業が)実際に競争する意思が無い状況での入札が割高な原因の一つだと思いが、どう考えるか。
 (2) 一度も入札に参加していない事業者もかなりある。きちんと公平な入札機会を保障していく改善をしてほしいがどうか。
 (3) 小規模な工事【注1】を、(地元業者が)大手ゼネコンとJV【注2】を組む必要があるのか。解体した旧弥富中学校は、(大手ゼネコンではなかったが)非常に正確な施工がされていた。競争性が担保され、地元業者の育成にも役立つ仕組みを考え直していく必要があると思いがどうか。

【注1】市では建設工事は設計金額5億円以上、土木工事は2億円以上を対象とできる。
 【注2】ジョイントベンチャーの略。技術力の有る大手と地域中小企業の組み合わせで、公共事業等を共同で行う手法。

要領の金額要件の
見直しを検討したい

答 副市長

(1) 指名選定は、工事請負業者選定要領に基づき行っている。その条件をクリアする中で指名を幅広くしているつもりである。
 (2) 各業者を何回指名したかの表をつくっている。もう一度表をチェックし、幅広く公平に指名するようより一層改善させてもらう。
 (3) 要領の金額引き上げ等、今後検討すべきことも含め対応させてほしい。

海部南部水道企業
団の改善を

問

海部南部水道企業団【注】の改善を、市長に尋ねる。

【注】愛西市、飛鳥村と本市で構成する水道事業を行う一部事務組合。給水区域は構成市村と蟹江町の一部。事務所は愛西市。



海 部 南 部 水 道 企 業 団

(1) 15年から19年度の給排水管工事の入札実績は、総合計で予定価格約31億5、400万円に対し、落札額は約30億8、800万円で97.9%であった。公費節約の取り組みとは

かけ離れた状態ではないか。
 (2) 愛西市内での漏水に対する損害賠償請求訴訟が18年12月に始まったことが、長期にわたって議会、市民にも報告されなかった。構成市村長(全員)の管理機能を強め、企業長と副管理者として対応すること【注】が、現状を改善する要になるのではないか。

【注】市村長の互選で決定する企業長(≠管理者)以外の首長は、管理権の無い議員に就任。他の一部事務組合では副管理者になることが多い。

議会組織改革を前
提に発言していく

答 市長

(1) 企業団の中に(公正入札)調査委員会が設けられ、各事業をしっかりと時間をかけて調査が継続中である。
 (2) 今後は企業団議会組織の改革を前提にし、どんな構成が望ましいのかを、わたしも企業団議会等で発言をしていきたい。